

質 問 ・ 回 答 書

2020年8月26日

「アンゴラ国 アフリカ地域地上デジタルテレビ放送移行プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）」

（公示日：2020年8月12日／調達管理番号：20a00371）

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p5	「・・・見積書作成にあたり、現地再委託費用や特殊傭人については別見積もりとしてください。」とあります。本調査に必須と思われる特殊傭人については現地 JICA 事務所からご紹介いただけませんか。またその費用についても提供いただけないでしょうか。	特殊傭人は、基本的に入札者が業務に必要な人材の要否を判断し、調達する想定です。今回、英語-ポルトガル語の通訳や場合によっては各種業務実施に係る傭人等が想定されますが、特殊傭人の活用方法や必要となる費用を含めご提案願います。提案をもとに契約交渉において、JICA が保有する関連情報をもと内容の確認・協議を行います。
2	p13	「エ）通訳傭上：なし」とあります。アンゴラの公用語はポルトガル語ですが、今回の調査先については、英語でのやり取りが可能という理解でよろしいでしょうか。	カウンターパートとの基本的なやりとりは英語で可能ですが、その他現地関係者へのヒアリングや細かい調整においては、ポルトガル語が必要な場面も想定しています。
3	p13	「3）特殊傭人を用いる場合、・・・英語でのコミュニケーションではカバーできない・・・」とあり、特殊傭人の業務内容が制限されていると思われます。遠隔での調査という業務形態を考慮すると、これ以外の業務、質問書の回収や遠隔でのインタビュー・協議の補佐等の業務も特殊傭人に援助を求める必要があると理解しております。弊社が希望すれば、この制限は外さ	ご理解の通りです。特殊傭人が担う業務内容等はプロポーザルにて提案頂き、業務範囲についても JICA と協議の上柔軟に対応する想定です。

通番号	当該頁項目	質問	回答
		れるという理解でよろしいでしょうか。	
4	p13	収集資料にポルトガル語のものが含まれると考えております。業務に必要な部分の翻訳については、特殊傭人に依頼できるのでしょうか。あるいは JICA 事務所で翻訳先を紹介いただけるのでしょうか。その費用は見積もりに含めるのでしょうか。	収集資料の翻訳に特殊傭人を活用することは可能ですのでご提案願います。JICA 事務所での翻訳先の紹介は予定しておりません。その他、質問番号 1 の回答を参照願います。

以上